

「大容量蓄電システム需給バランス改善実証事業」への応募検討について

当社は、国の平成26年度補正予算において、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた支援策として計上された「大容量蓄電システム需給バランス改善実証事業」の活用を視野に、福島復興に資する取り組みとなるよう、福島県内への蓄電池の設置に向けた検討を重ねてまいりました。

今般、国が一般社団法人新エネルギー導入促進協議会を通じて本実証事業の公募を開始したことから、当社は、南相馬変電所（所在地：福島県南相馬市小高区）に大容量の蓄電池システムを設置する計画でこれに応募することといたしました。なお、応募時期は4月初旬を予定しており、現在、以下の内容で準備を進めております。

当社は、地元電力会社として、本実証事業を通じて福島県内における再生可能エネルギーの導入拡大を支援し、引き続き福島復興に貢献できるよう取り組んでまいります。

1. 実証事業の目的

電力系統に大容量蓄電池を設置し、需給バランスを改善することで再生可能エネルギーの受入可能量の拡大可能性等について実証を行う。

2. 応募内容（予定）

- (1) 設置場所：南相馬変電所〔福島県南相馬市小高区〕
- (2) 実証設備：リチウムイオン電池
 - ・出力：4万kW程度
 - ・容量：4万kWh程度*

※当該容量に対する再生可能エネルギーの導入拡大効果としては5万kW程度を想定

3. 実証事業イメージ

